行事報告書(自主活動)

報告者:　仲谷貞夫

行 事 名	甲山探鳥会6月会
実施日時	2024年6月6日(木曜日) 9:00～11:40　　天候: 晴時々曇り　　気温 25℃
場 所	県立甲山森林公園
参加人員	12名　(内訳 MNC 9名 、 一般参加 3名)
参加者	MNC　　太田(由)、木村(俊)、大地(祥)、三仲、足立、樋口、森本(和)、森永(啓)、仲谷 一般参加　　佐藤、曳野、別所　　(敬称略)
観察鳥	鳥数　17 種　　( )内は鳴き声のみ (コジュケイ)、カワウ、アオサギ、(ホトトギス)、トビ、コゲラ、ハシボスガラス、ハシブトガラス、 ヤマガラ、ツバメ、ヒヨドリ、(ウグイス)、(センダイムシクイ)、メジロ、(キビタキ)、スズメ、ホオジロ
観察概要	世話役の感想、特記 　すっかりと木々の葉も茂り、鳥を観るには難しい季節を迎えました。 夏鳥は出揃ったと言うよりは、多くの種は更に北方へ、高緯度へと移動したと思われますが、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガなどのお馴染みさん達は幼鳥デビューの季節を迎え、まだまだ初々しい毛並みで不器用に飛ぶ姿を観るのも楽しい季節です。 　全員がキビタキの美しい鳴き声を頼りに目を皿のようにして姿を追い、時折はウグイスの囀りに心を癒され、遠くでホトトギス独特の鳴き声に夏を感じ、“なかよし池”ではツバメの子離れの場面に感心し、眼にする鳥種こそは少なかったが、心癒される半日を過ごす事が出来ました。　(記　森永（啓)） 　想定はされていましたが、やはり野鳥の声は聞こえているものの姿が確認できないもどかしさが漂う野鳥観察となりました。それでも観察した鳥数に関係なく樹々の間をゆったり歩いて味わえる自然とのふれあいを楽しめる貴重な機会になっているとの感想が大半を占めていました。鮮やかな色彩のカキランやノハナショウブの花が気持ちを高揚させてくれました。 (記　仲谷)
連絡事項	今回の６月探鳥会を終えた後、甲山探鳥会は野鳥観察に適さない時期の7、8、9月は休止とし、次回の甲山探鳥会は10月31日（木）に夙川公園で再開する予定です。 　この間は各自でソロ観察をお楽しみください

観察出来た鳥達

メジロ

ヤマガラ

ホオジロ

ツバメ（幼鳥）

道端の可憐な花

カキラン

観察風景

（撮影　樋口さん）